

# OPIC2012 -OPTICS & PHOTONICS International Congress 2012-

社団法人レーザー学会

国際会議運営委員長 加藤 義章

(平成 23 年度国際会議等開催準備助成 AF-2011221)

キーワード：レーザー、ディスプレイ、加工

## 1. 開催日時

平成 24 年 4 月 25 日(水)～27 日(金)

## 2. 開催場所

パシフィコ横浜 会議センター

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

## 3. 国際会議報告

OPTICIS & PHOTONICS International Congress 2012

(OPIC2012)は、今回初めて開催された国際会議である。

OPTICIS & PHOTONICS International Council(会長：中井貞雄レーザー学会会長)の主催により、OPTICIS & PHOTONICS International Exhibition (OPIE2012、レーザー-EXPO など光分野 6 展示会の合同展示会)と併催して開催された。

OPIC2012 は、霜田光一博士(東大名誉教授)と R. Byer 博士(スタンフォード大教授・米国物理学会会長)を共同議長とし、以下の 6 つの専門国際会議が同時に開催された。

■先進レーザーと光源技術 (ALPS' 12、レーザー学会、理研 緑川克美氏)

■レーザーディスプレイ (LDC' 12、応物/日本光学会、東大 黒田和男氏)

■レーザー医療 (CLSM 2012、日本レーザー医学会、防衛医大 菊池眞氏)

■高エネルギー密度科学の応用 (HEDS2012、レーザー学会、阪大 兒玉了祐氏)

■レーザー核融合エネルギー (CIFE' 12、阪大レーザー研、阪大 畦地宏氏)

■CFRP 等複合材料のレーザ加工 (LPCC2012、高温学会/レーザ加工学会、レーザー学会、中部レーザ応用技術研究会、光産創大 沓名宗春氏)

ここに、各会議の主催団体と会議議長を括弧内に記す。

初日の 25 日は全体会議に当てられ、午前に会議議長の挨拶に続き、基調講演が L. Goldberg 氏(米国国立科学財

団上席技術顧問)、R. Poprawe 氏(独 Fraunhofer ILT 所長)、加藤義章氏(光産創大学長、Jie Zhang 上海交通大学長の代理)が行われた。また午後には、「国際光科学フォーラムサミット” Photonics for the Green Earth and Better Life” が開催され、滝順一氏(日本経済新聞社論説委員)、伊賀健一氏(東工大学長)、中村道治氏(JST 理事長)、Ching-Fuh Lin 氏(国立台湾大学教授)、Tae Moon Jeong 氏(韓国光州科学技術院教授)の講演、および基調講演者も加えてパネル討論が行われた。

26, 27 日に前記の専門国際会議が並行して実施された。OPIC2012 の全参加者数は 514 名で、各会議の参加者数は ALPS 104, LDC 150, CLSM 62, HEDS 61, CIFE 66, LPCC 55, および VIP・事務局 16 であり、外国からの参加者数は 120 名であった。各専門会議では、各分野の主導的研究者が国内外から招待され、招待講演、一般講演、ポスター発表により、最新成果の発表と活発な質疑が交わされた。LPCC は開催決定に時間がかかったため広報時間がやや不足であったが、時宜を得た課題により当日参加も含め多数が参加した。

光・フォトンクス分野においてわが国で定期開催される国際会議はなかったのであるが、OPIC/OPIE の毎年開催により、世界・アジアの光・フォトンクス分野の研究・産業の進展の定点観測、および日本からの情報発信が可能となる。OPIC を構成する専門国際会議は、毎年追加、入れ替えが可能であるので、柔軟な運営が可能であり、今後の発展が期待される。

## 謝辞

本会議を開催するにあたって、公益財団法人天田財団より国際会議等開催準備助成を賜りました。ここに篤く御礼申し上げます。

## 参考文献

OPIC2012 Congress Program